

緊急告知

STOP

ザ

労働災害

～ 例年より労働災害が増加しています～
労働者、事業主のみなさん、
職場の安全点検を実施しましょう！

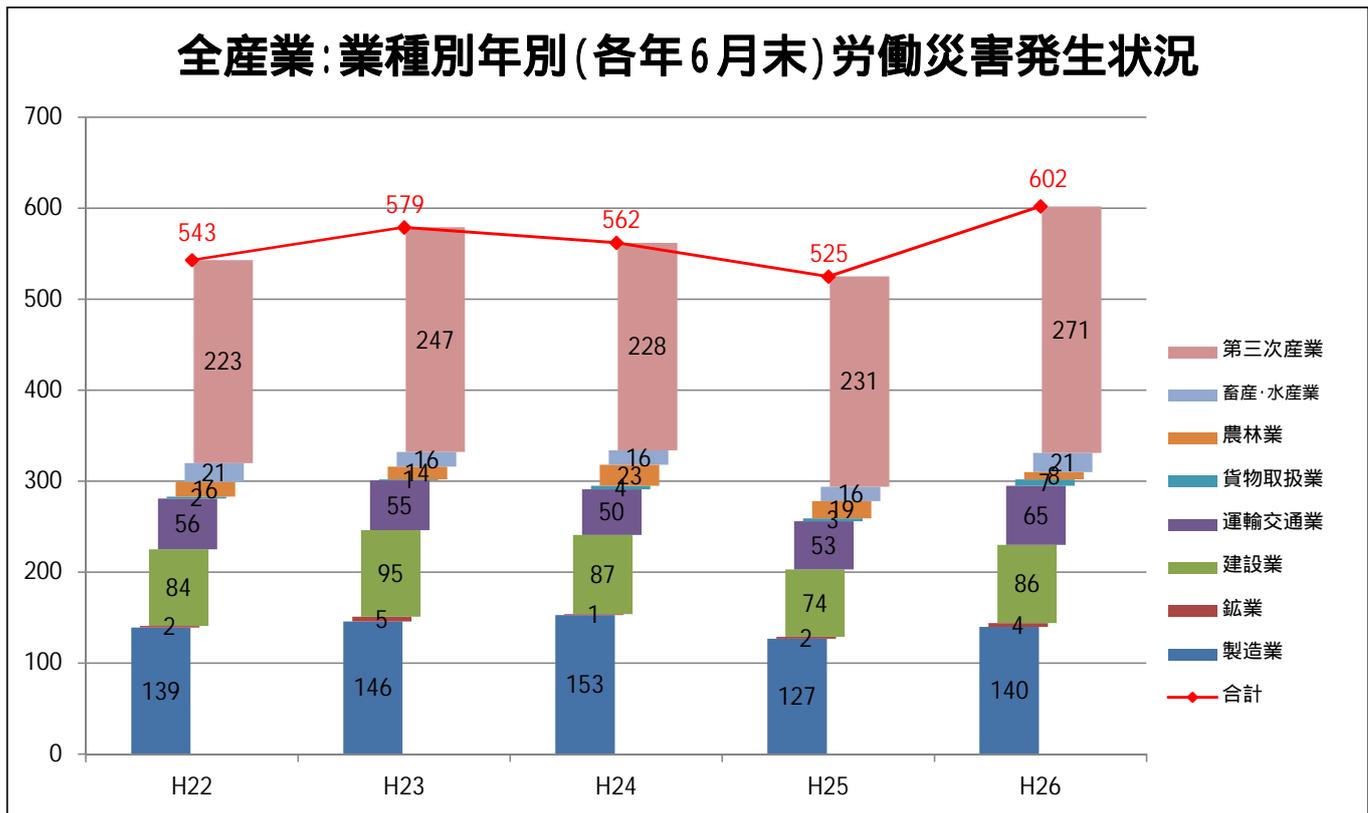
平成 26 年 6 月末時点の長崎県内の労働災害発生件数が、過去 5 年の同期比で最多！
とりわけ、「運輸交通業」、「第三次産業」で、過去 5 年の同期比で最多！
「製造業」、「建設業」などでも労働災害が増加傾向にあります。

【労働災害統計、各種労働災害防止パンフレットなどに関するお問い合わせ先】

長崎労働局労働基準部健康安全課 ☎95-801-0032

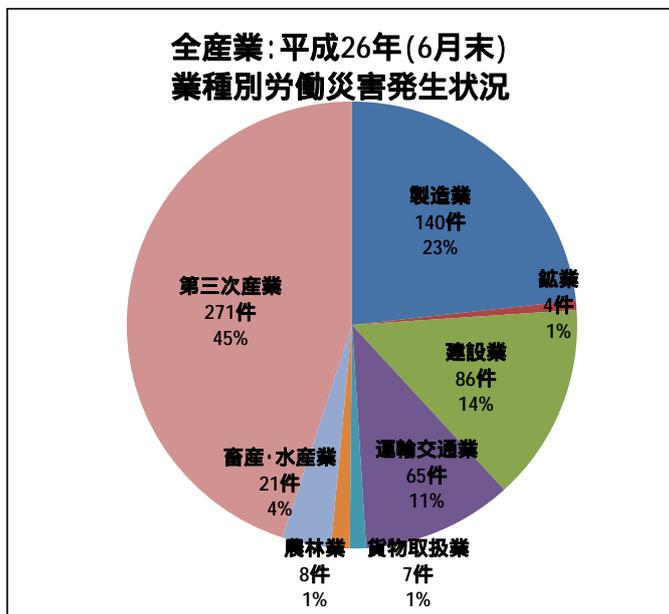
長崎労働局ホームページ <http://nagasaki-roudoukyoku.jsite.mhlw.go.jp/>

平成26年労働災害発生状況 (H26.6.30時点)

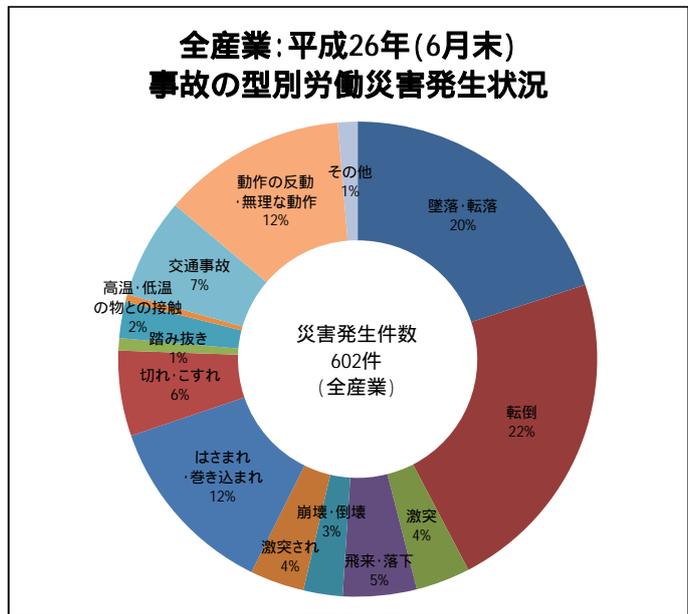


【平成26年労働災害発生の現状 (6月末時点)】

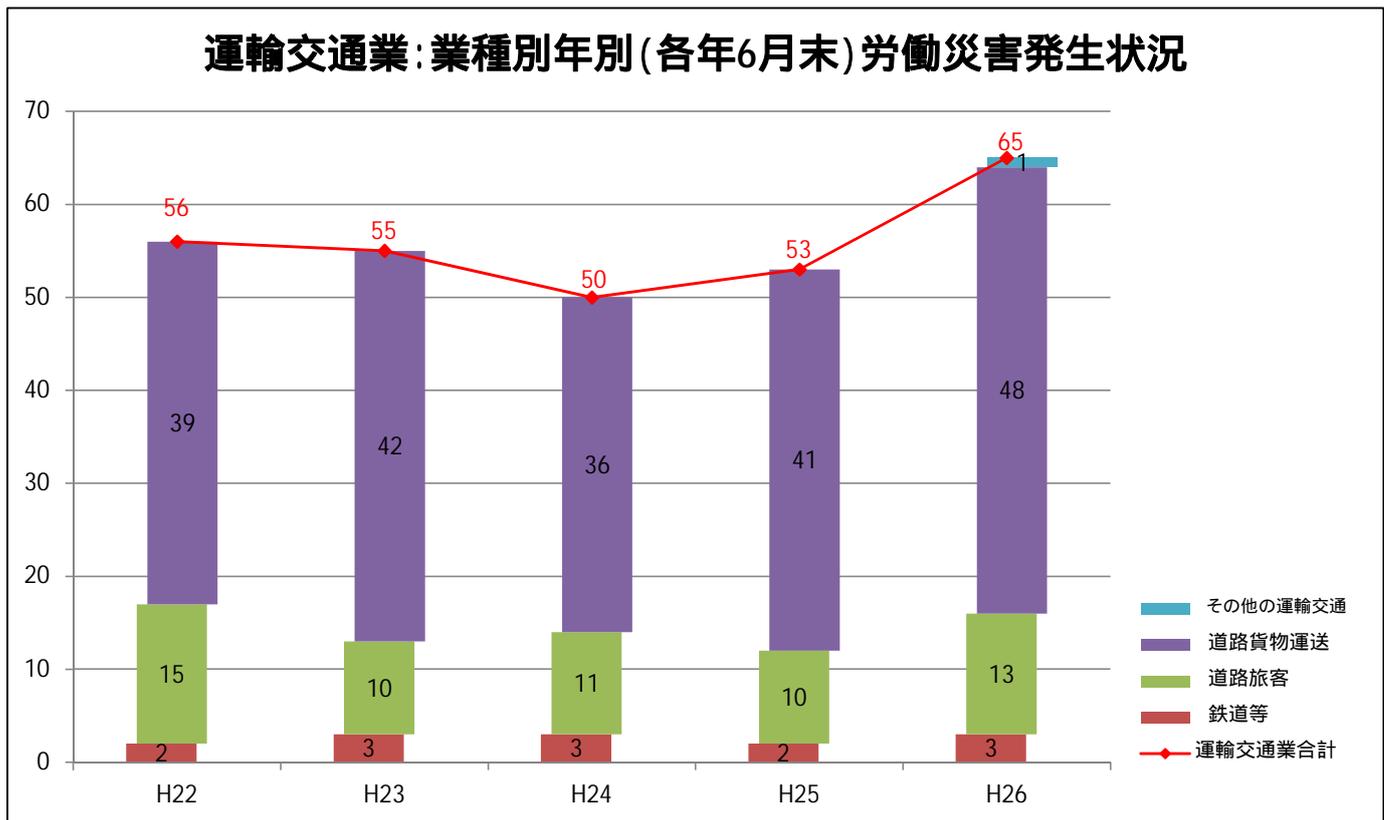
- ・全産業で対前年比77件(14.7%)の増加 (過去5年で発生件数はワースト1)
- ・第三次産業で対前年比40件(17.3%)の増加 (過去5年で発生件数はワースト1)
- ・運輸交通業で対前年比12件(22.6%)の増加 (過去5年で発生件数はワースト1)
- ・製造業 (対前年比13件、10.2%増)、建設業 (対前年比12件、16.2%増) などでも災害が増加傾向



・第3次産業が全体の45%を占める状況

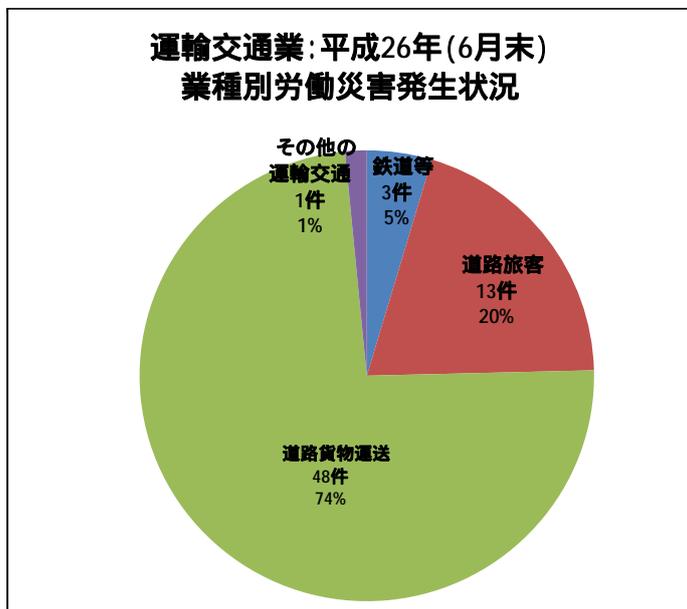


・転倒(22%)、墜落・転落(20%)災害の占める割合は、依然として高い。

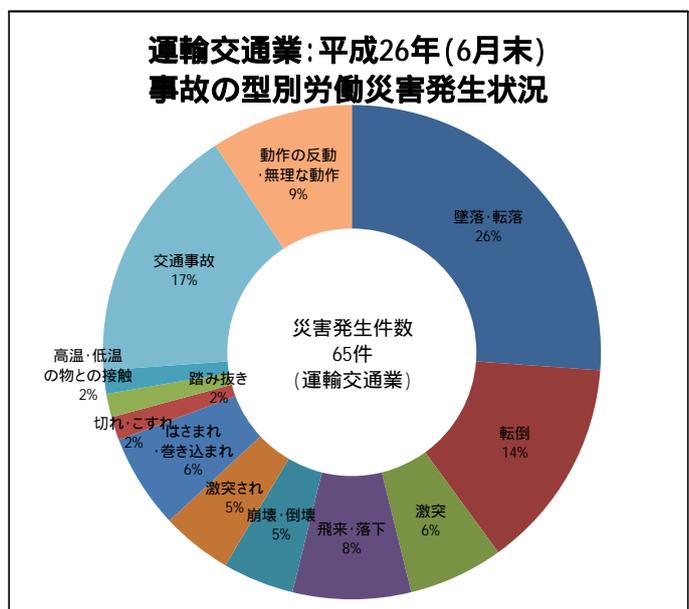


【平成26年労働災害発生の現状(運輸交通業:6月末時点)】

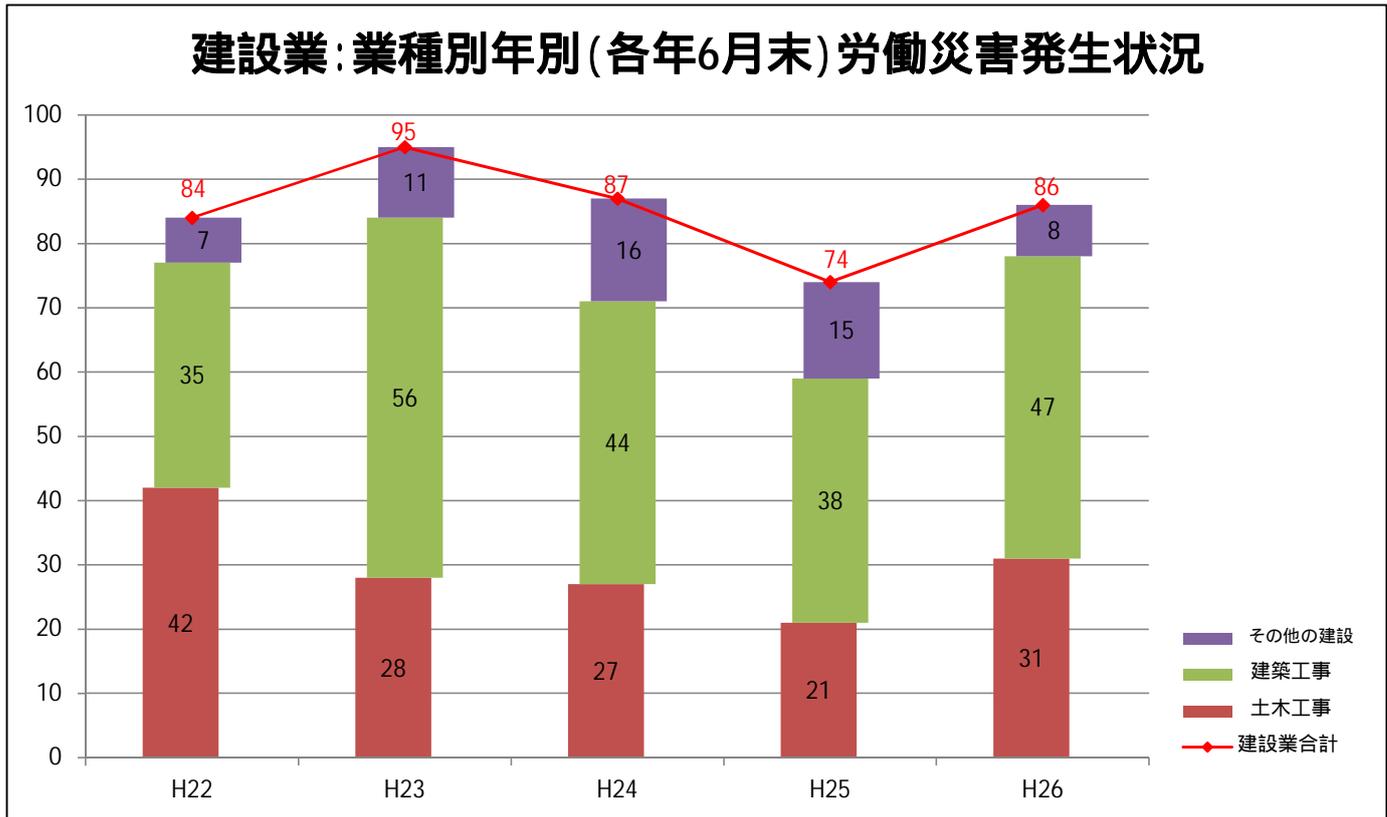
・道路貨物運送業で対前年比7件(17.1%)の増加(過去5年で発生件数はワースト1)



・道路貨物運送業が全体の70%以上を占める状況

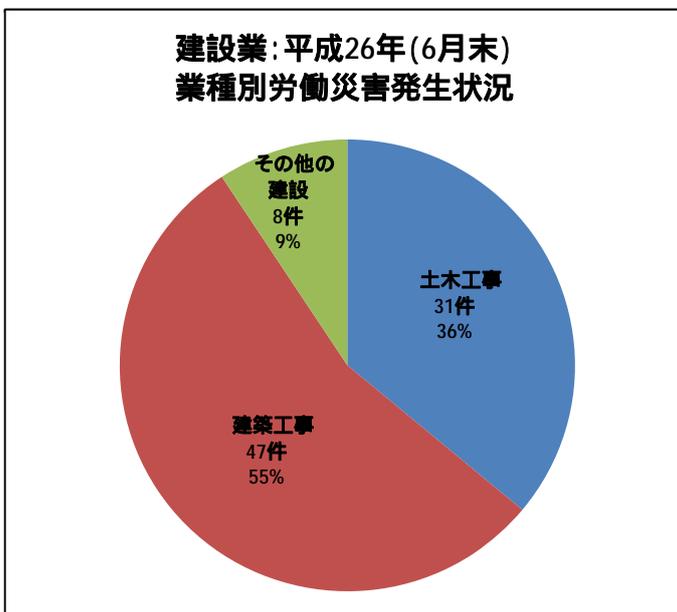


・トラック荷台などからの墜落転落災害が多い(26%)。交通事故も17%を占めている状況。

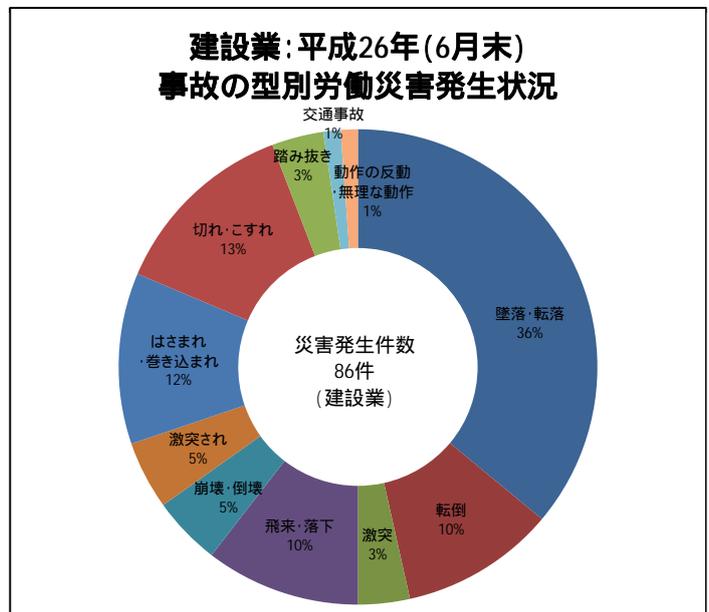


【平成26年労働災害発生の現状(建設業:6月末時点)】

- ・建築工事業で対前年比9件(23.7%)の増加
- ・土木工事業で対前年比10件(47.6%)の増加

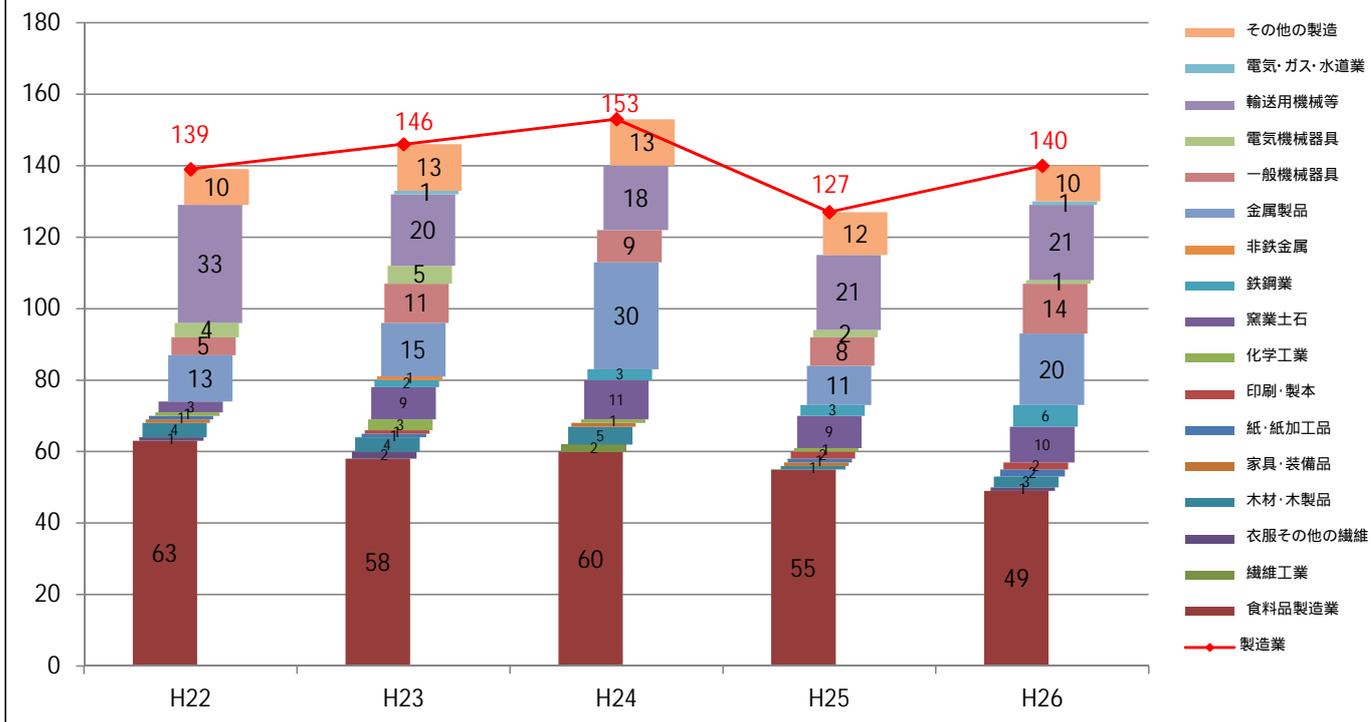


・建築工事業が全体の50%以上を占める状況



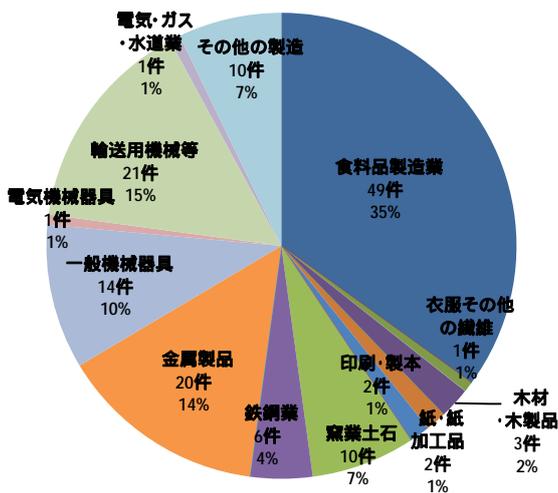
・重篤な災害に繋がりにくい仮設物、足場などからの墜落転落災害が36%も占める状況にある。

製造業：業種別年別(各年6月末)労働災害発生状況



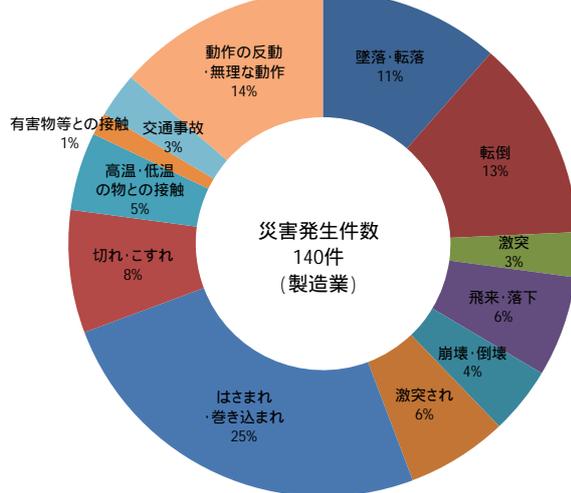
【平成26年労働災害発生の現状(製造業:6月末時点)】
 ・一般機械器具製造業で対前年比6件(75.0%)の増加
 ・金属製品製造業で対前年比9件(81.8%)の増加

製造業：平成26年(6月末)業種別労働災害発生状況



・食品製造業が全体の35%を占める状況

製造業：平成26年(6月末)事故の型別労働災害発生状況



・機械等によるはさまれ・巻き込まれ災害が25%を占める状況にある。